

開催日：平成17年3月25日

会議名：平成17年第1回定例会（第5号3月25日）

○（田村義明議長） 大伴雅章議員。

（大伴雅章議員登壇）

○（大伴雅章議員） ただいま議題になっております第24号議案 平成17年度長岡京市一般会計予算につきまして、長岡京市民民主党議員団を代表いたしまして、今までの討論された内容の重複はできるだけ避けて、基本的な事項のみ、意見、要望を添えて、賛成の立場での討論を行います。

国の三位一体の改革が未完成のままこの年度を迎え、さらに、このことを受けて、国の財政再建に伴う地方交付税などの縮減、さらには、財政調整基金が底を見え始めた現状の中、地方財政の借入金残高が、17年度末には205億円が予想される危機的状況が迫ってきており、これまでのような財源の安易な確保が難しい状況となってきた現状での大変厳しい予算編成であったと認識しております。

そんな中、まずは歳入ですが、市税においては113億3,684万円計上し、昨年比0.4%増ではありますが、依然として厳しい財政構造であることは変わりません。市税は本市の自主財源の根幹でありますことから、委員会での論議を生かし、全知全能をかけて英知を集め、その増に努めていただきたいと要望いたします。

本来は、歳入があつての予算であるべきところが、やはり初めに歳出ありきになっている感が否めず、身の丈に応じた行政運営ができるよう、かけ声だけでなく、実現できる努力を強く望みます。

次に、歳出ですが、この厳しい財政状況下にあっても、喫急を要する重要事項については、速やかに対応すべきことから、限られた財源を有効に活用する努力が求められ、そのために予算の重点化を図るという取り組みに対しては大いに賛意をするものでございます。

しかしながら、その重点事業とされたものを点検する中で、予算はつけているが、具体的な事業として、しっかりと詳細にわたり詰められていないことが懸念される中で、具体的に指摘し、実現されることを切に願うものであります。

まず、総括質疑でも指摘いたしました、本市の地域特性や地域資源をいかしたまちづくりのようですが、市長答弁では、別項目にある「緑と景観を生かすまちづくり」のことばかり言われ、議論は時間不足でかみ合いませんでしたが、私たち会派が言いたかったのは、水道問題でも明らかになったように、本市は企業と共生していくまちなんだということであり、そのことをしっかりと政策の柱に据えて、今後の予算執行を行っていただきたいと要望いたします。

次に、これも総括質疑で時間切れでしたが、災害に強いまちづくりについてであります。他都市に比較して大いに誇れる防災マップを全戸配布されたことは、大いに評価する

ところであります。つまり、あなたのお住みになっておられるところは水害が起これば、あるいは地震が起これば、場合によれば命に危険がありますよと、行政が今持っている情報を包み隠さず公開したことになり、速やかで正しい情報公開という点では画期的です。

ただし、情報の出しっぱなしはよくありません。総括質疑で明らかになったように、危険地域の中にはまだ自主防災会すら組織できていない地域があるとのこと、せめて来年度中には、その危険区域の地域の自主防災会未組織の地域の組織化を新たに来年度予算でつけられた防災担当官を軸にして、ぜひとも実現していただくよう、強く申し入れいたします。このことは、即、人命にかかわることだと認識していただいているというふうに思いますから、必ず実現していただくよう強く要望いたします。

次に、この議会での3回目の市長への提言になり、しつこいと思われかもしれませんが、申し上げます。

1回目、一般質問で私が役職定年制の17年度からの考え方をただしたのに対し、総括質疑では、私の一般質問の答弁を180度覆す答弁をされたり、2回目、さらに私が突っ込んで聞くと、また微妙に変化したり、一貫性がありませんでした。

予算の中では今まで余り審議されておりませんが、人件費は1人800万とか、600万とか、その小計の積み上げで計上されています。ほとんど中身はフリーパスです。それは600万の、あるいは800万の職員は、その価値に当たる仕事をされているという前提で、議員は意見を言わないのです。あるいは言えないのです。しかし、それは市長がしっかりとした人事管理をなされているという前提でもあったわけでございます。

しかし、今議会でのような市長答弁を続けられますと、人事権は首長のものでありますが、人事政策は広く論議されるべきものであります。多くの意見に耳を傾けず人事権を行使されますと、市長との信頼関係が成り立ちません。議員はもとより、何よりも多くの市民の方が声を上げられることが想像できます。しっかりとした見識を持った多くの人が納得する人事政策を実施していただくよう要望させていただきます。

以上、市長を支え励まさなければならない立場として、あえて苦言を呈し、市長が変革され、具体的に実行していかれることをいま一度信頼して、賛成の討論といたします。